

令和元年10月3日

舞鶴市議会議長

上羽和幸様

提出者	舞鶴市議会議員	上野修身
賛成者	同	今西克己
	同	尾関善之
	同	小杉悦子
	同	鯛慶一
	同	高橋秀策
	同	松田弘幸

国民健康保険の国庫負担拡充と
子どもに係る均等割額の負担軽減を求める意見書(案)の提出について

上記の議案を別紙のとおり、舞鶴市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

意第1号

国民健康保険の国庫負担拡充と
子どもに係る均等割額の負担軽減を求める意見書(案)

国民健康保険制度は、国民皆保険制度の根幹として、地域住民の健康保持増進に重要な役割を果たしているが、加入者には高齢者や低所得者が多いことなど、国民健康保険事業を取り巻く財政運営状況は非常に厳しくなっている。

国においては、平成30年度制度改革以降、毎年公費3,400億円を投入するとされているものの、国民健康保険制度の構造的問題に起因する保険料の大幅な増加の抑制には充分であるとは言えない。

また、子ども医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置については、平成30年度から未就学児を対象とする減額調整措置を行わないこととするなど、少子化対策、子育て支援等の拡充が進められている一方、均等割は、子どもの数に応じて増加するため、子育て世帯にとって負担が大きく、国や自治体が推進する少子化対策や子育て支援施策と相容れないものとなっている。

よって、国及び政府において、国民健康保険制度の安定運営及び子育て支援の観点から、下記の事項を早期に実施されるよう強く要望する。

記

- 1 国保財政基盤の強化のため、公費の財政支援について継続して実施するとともに、更なる公費拡充を図ること。
- 2 子育て世帯の負担軽減を図るため、国民健康保険の子どもに係る均等割額を軽減する支援制度を創設するとともに、必要な財源を確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年10月7日

衆議院議長 大島理森様
参議院議長 山東昭子様
内閣総理大臣 安倍晋三様
財務大臣 麻生太郎様
総務大臣 高市早苗様
厚生労働大臣 加藤勝信様
社会保障改革担当大臣 西村康稔様

舞鶴市議会議長 上羽和幸